

事例 21：チキンナゲットのひも状異物

品 名：チキンナゲット

苦情概要：チキンナゲットにひも状の異物が混入していた。

検査方法：肉眼および実体顕微鏡による観察。

ホルマリン固定後、組織標本を作製し、HE 染色後顕微鏡で観察。

肉 眼 像



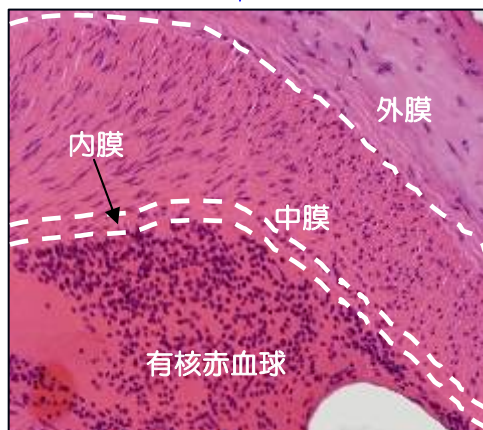
実体顕微鏡像



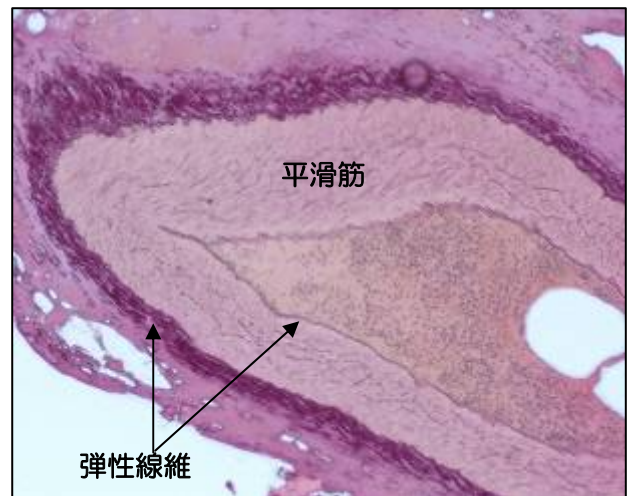
HE 染色 弱拡大像



拡大



エラスチカワンギーソン染色



検査結果：組織検査の結果、異物は管腔構造をなし、血管壁に類似した外膜・中膜・内膜の構造が認められました。また管腔内には鳥類に特有な有核赤血球を認めました。さらに血管壁を構成する成分を確認するため、弾性線維および平滑筋を染色するエラスチカ・ワンギーソン染色を行ったところ、外膜と内膜を構成する弾性線維と中膜を構成する平滑筋がそれぞれ染色されました。以上の結果より異物は鶏の血管であることが判明しました。